



憲法9条の会 つくば ゆい

コミュニティーニュース

2008.8.31 No.23

発行 「憲法9条の会 つくば」

〒305-0005 つくば市天久保 1-10-12 1-401

電話 090-3811-3753, Fax 029-856-2286

<http://peace.arrow.jp/tsukuba/>



憲法9条への賛同の輪を大きく広げ、 3周年記念のつどいを成功させましょう！

「核兵器のない世界」が現実となる！ そんな期待と決意が込められた暑い8月でした。

広島・長崎市長が正副会長を務める「平和市長会議」(131カ国・地域の2368都市が加盟)は、2020年までに核廃絶にいたる具体策を示した「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を2010年の核不拡散条約再検討会議に提案するとともに、来年の国連採択を目指しています。国連事務総長も、広島の平和式典へ「両市長の取り組みは全世界で認識され、また尊敬されています」とメッセージを寄せました。草の根の核廃絶の運動が、実に世界を動かしつつあります！ 原水爆禁止世界大会の「広島からのよびかけ」でも、「日本で“憲法9条が輝く非核・平和の日本”を実現していくことは、私たちの世界に対する責務です」と言っているように、憲法9条を政府に遵守させる運動も、核兵器廃絶運動に負けない粘り強さが求められています。

折しも北京オリンピック。「ひとつの世界、ひとつの夢」と、世界の人々に「夢＝平和」の実現に、一つになって歩もうと呼びかけました。オリンピック開幕とともに始まった「グルジア・ロシア紛争」で引き裂かれたエアピストルの両国の選手たちは、表彰台で、「戦争を起こすのは政治家、私たちの友情は変わらない。話し合って解決すべき」と抱擁しあい、「戦争のない国」を誓い合っていました。まさに、今、「憲法9条の精神」の実現が望まれています。

それにしても、物価の高騰で、家計も営業も悲鳴をあげています。インド洋で多国籍軍に給油する補給支援特別措置法の来年1月の期限切れを前に、その実質的延長を画策する政局となりそうです。アフガンで実際に武装解除に携わった瀬谷ルミ子さん(紛争解決の担い手育成に取り組むNGO 事務局長)が、「『日本人だから武器を渡す。空爆する米国人なら撃ち殺す』とのアフガン兵の言葉が忘れられない」(朝日新聞 8/13)と語っているように、多国籍軍への給油は百害のもとです。250億円もの給油は、ぜひ国民に向けてもらいたいものです。

「憲法9条の会 つくば3周年記念のつどい」を10月4日、つくば国際会議場で開催します。8月31日には、「記念のつどい」イベント「ヒロシマ・ナガサキ」上映会を行います。「記念のつどい」までに、つくば市の賛同人を500名に、秋の臨時国会に提出予定の賛同署名を6000筆以上にする目標を達成する行動とともに、多くの皆様に「記念のつどい」への参加を呼びかけましょう。「記念のつどい」を見事に成功させ、新たな出発点とするために、皆様のご協力をお願いいたします。

行動予定

- 9月7日(日)・10月5日(日)・11月2日(日)
定例街頭署名行動 11時半～ アルス図書館前集合
- 9月2日(火)・9月9日(月) 19時～
「3周年記念のつどい」実行委員会 並木公民館
- 9月9日(日) 9.9.9.09 全国一斉行動
8時50分 TX 駅, キュート (Q' t) 前集合
- 9月17日(日)・11月16日(日) 定例会 10時～ 並木公民館

★10月4日(土)「3周年記念のつどい」★
13時半～ つくば国際会議場

□賛同人 644名 (つくば市内 495名)

8月18日現在 ♪♪♪

□9条署名 8月17日までの累計

5596筆

(8.2 定例街頭署名行動：50筆

8.9「憲法改悪反対」全県行動：15筆)

会の活動から

◎印象的な対話「戦争をおこすのは兵器企業」——8. 3定例街頭署名行動から

署名行動には6名のメンバーと音楽家・荒牧さんが参加されました。暑い中での奮闘、ほんとうにご苦労様でした。署名はちょうど50筆。秋のロボット大会のコース計測員の往来などで対話しにくい状況でしたが、ますますの成果であったと思います。9月にまた頑張りましょう。



署名行動では、呼びかけの対話の中で、何かと印象的なお話があるものです。今回、私は、「9条があっても、兵器関連の大企業が与党を動かして、金儲けを企んでいる限り、世界から戦争はなくなるからね」という中年男性の発言が心に残りました。みなさん、こんな風に考えているのかなあと。(樋田)

◎長崎原爆の日——8. 9「憲法改悪反対」全県統一行動から

63回目の長崎原爆の日、8月9日、TXつくば駅で、新婦人、市民の会、研学9条の会、農民連、民商などの団体と共に、平和のための統一行動に参加しました。新婦人の方々の青地に鳩の白抜き模様のハッピー、統一感があって夏らしい威勢の良さが印象的で、ちょっとうらやましい感じ(我が9条の会でも署名行動などで目立ってるよう、お揃いの何か?あるといいですね)。一部ハッピーをお借りして、夕方の風が吹き始めたとはいえまだまだ暑い夏の夕暮れ、500枚近いチラシを一人ひとりに手渡すことができました。

中学生位の娘さんと一緒に女性に3周年のチラシを渡しながらか「お母さんは庄野真代さん知ってますよね」と話しかけると、「知ってる!飛んでイスタ〜ンプ〜ル♪でしょ」と歌ってくれる方も(娘さんはキョトンとしてました)。庄野さん、40代から50代前半位?の方々には、やはり圧倒的知名度ですね。

長崎原爆の日とあって、チラシの受け取りも署名への協力もスムーズで、高校生や外国人の方々からも熱い声援を頂きました。(塩)

賛同人ひとこと

※・私は日本国憲法が大好きです。読み返すと、熟考を重ね、世界の平和を希求したい熱い信念が溢れてきて、うれしくなります。当時の国民一人ひとりの平和を求めた気持ち憲法という形になって、戦後生まれの私たちまでも守ってくれていたことに感謝します。だから子どもたちのためにも、他の国の人々のためにも、この財産を守り続けなければいけません。(H)

※私たちは日本に住む在日韓国人2世です。日本の皆さんが9条を守って、平和な日本を守ってくださることを願っています。(H&Y)

※私も、日本が「戦争をする国」になることに反対します。現状でも、9条を守りきれいでないと思います。9条を変えず、まず守りきれぬ国にしたいです。(Y)

集まれば元気!「つくば市母親大会」へ

9月28日(日)9時半~ 県立上郷高校

午前:分科会

午後:映画「シッコ」上映会

「憲法9条の会つくば」は、「戦争を語り継ぐ一女性たちの想い」を担当。報告は村上啓子さん(ヒロシマの証言者)、鶴文乃さん(作家)、守屋ミサさん(平和活動家)。それぞれの戦争体験を踏まえ、核兵器のない平和な世界を作るためのご自分の活動を語って頂き、いま、私たちは何をすべきか、参加者とともに考えたいと思います。

映画「シッコ」は、医療費が払えず自分で傷口を縫っている衝撃的な出だしで始まります。これが米国医療の現実であるだけでなく、日本の将来の医療状況を暗示しているようです。(長田)

資料代:800円 問い合わせ先:つくば市母親大会
実行委員会 (Tel&Fax:029-852-4118)

戦争を想う、平和を想う

憲法9条への想い

1987年頃から数年、日本語学校で日本語を教えたことがある。当時は、中国や韓国からの学生が多かった。みんな戦争を知らないはずの若者たちだが、日本への反発は相当なものだった。それは、彼らは教育の中で過去の戦争で日本が自国に何をしたかを学んでいて、韓国の学生によると大学入試など、社会科の歴史問題の9割は、過去の韓日歴史問題だと言っていた。その信憑性はどうか分からないが、当時、既に戦後40年以上も経っているというのに、戦後の日本が彼らには全然伝わっていないのには、驚きであった。軍国主義の日本人をイメージして来た学生たちに、日本は憲法9条で戦争は絶対しないことを、世界に約束しているのだと言うと、信じられないと繰り返していた。そして、ある学生が、「そうなら、どうして日本は、車や電気製品と一緒にその9条を輸出しなかったのか」と言ったのは、印象的だった。

2000年にアイスランドへ旅行し、その地球の北の果てで、トヨタ自動車とマクドナルドの看板や店舗を数多く目にした時、韓国の学生の言葉がふと頭に浮かんだ。海外へ経済進出して儲けることは宣伝しても、平和国家として生まれ変わった日本のことは広めてくれなかったのは、ほんとに残念。

私が、約20カ国80箇所に「平和のメッセージを長崎から」というコンセプトで1年に1回出している「ばってんネットワーク」では、2004年に憲法9条の英文を掲載し、配布した。



鶴 文乃 (つくば市梅園)

私の二人の肉親は、長崎の原爆で悲惨な犠牲になった。その犠牲があつて9条を獲得できた、個人的にはそう自分に納得させている。あの原爆は、たった10秒間で、その年末までに広島、長崎で20万以上の犠牲者を出すことになったという。私は、その一瞬の恐怖を感じ、長崎を最後の核兵器投下地にすること、そして世界の平和を祈願するということで、「平和の鐘、一振り運動」を国内外に呼びかけている。去年は「ぬまづ憲法9条の会」の方々が、組織としてではなく個人個人で動いてくださり、全国にも広がった。この運動は、平和を個々の問題としてとらえてもらうのが目的。憲法9条も観念だけではなく何か具体的な行動で、一人一人が国内外にもっと広めていく努力が必要ではないだろうか。(2008.8.1 記)

文芸九条—ホツとたいむ

- ・ 黙禱のいつもその刻 蝉時雨
- ・ 乳飲み子に ゆったり母の 団扇かな
- ・ 炎天や タイヤの 軋む 音のして
- ・ 遠き地の 戦禍映せし 写真展 子等の 瞳に 非力詫びつつ

戦争の無い地で生きていられる幸せを、つくづく思う日々です。戦争をしなくすむ世界をつくる方法は、きっとあると信じています。(ゆきえ)



輝け！憲法、守ろう！いのち 2008

日時：2008年10月4日（土）

開演 13:30 開場 12:30

会場：つくば国際会議場大ホール

第1部：「憲法9条の会つくば」の活動報告とこれから

第2部：記念講演：松本 侑子 さん（作家・翻訳家 / 日本ペンクラブ常務理事）

「憲法9条を変える日本、変えない日本」

第3部 歌とトーク：庄野 真代 さん（歌手 / 「国境なき楽団」代表）

「音楽にのせて・・・」

参加費：1000円（一般）、500円（学生・障害者手帳をお持ちの方）、中学生以下無料

「憲法9条の会つくば」
3周年記念のつどい

「国境なき楽団」の平和への想い ～「国境なき楽団」団長：庄野真代さんより～

「国境なき楽団」は、2001年に施設などへの訪問コンサートを始めた音楽ボランティア団体が発展してできたNPOです。この年、ニューヨークで起きた同時多発テロで「平和の脆弱さ」を感じ、同時に、それを築くのも壊すのも「人間」であることを再認識しました。

音楽そのもので、戦争や貧困をなくすことはできません。でも、恐れや失望を抱きながら暮らしている「人間」の心に、安らぎや希望を与えることはできます。それが「平和の創造」への勇気になると信じています。

2002年の9月11日、平和への願いを込めて市民音楽家が集まり、街のアチコチでコンサートが開かれました。それが「セプテンバーコンサート」で、日本では2005年から私たちの呼びかけに応じて日本中で開催されています。今年は全国57会場、約500組のアーティストが参加しています。

国境なき楽団ではまた、日本で不用になった楽器を集めて、途上国の子どもたちを送っています。多くのボランティアさんの手を経て届いた楽器は、「応援してるからね！」という未来へのメッセージを奏でてくれます。

どこで生まれても、どんな生活環境にいても、私たちはみんな地球の1メンバーです。音楽がそれをつなげてくれるのです。

あの“暑い夏”を再びくり返させない！

原水爆禁止2008年世界大会・科学者集会（8/1）in つくば

大会では、木村朗氏（鹿児島大学）による基調報告とミーリヤ・カピロワ氏（ロシア・チェリャピンスク核被害者団体議長）による特別報告があった。

木村氏の報告は核をめぐる情勢や反核運動など多岐にわたったが、印象に残ったのは、核兵器と戦争のない世界に向かうために我々に何ができるかという観点から、「原水禁運動」も、「対人地雷全面禁止」や「クラスター爆弾禁止条約合意」、「イラク自衛隊派遣違憲名古屋勝訴」などと運動の高まりを示している最近の種々の反戦平和運動と結びつくことが大切であること、また間違いなく日本の核武装化を促すであろう憲法9条改悪を許さないと活動している「9条の会」などが大きな励みになる等であった。

カピロワ氏は、現地の核プルトニウム工場での過去3回の放射能汚染重大事故の実態を報告。高濃度汚染地区に居住する住民には、障害者や早死の率が增大しており、癌や不妊症、先天的に障害を負った子どもの発生などが高率であるという。核を廃絶することなしには、これらの問題の真の解決はないと強く表明された。午後の部では地元茨城などからの報告があった。

私には、“広島・長崎原爆投下はやむなし”との「原爆神話」がまったくの虚構にすぎないという木村氏の報告が、心に強く残った一日であった。（伊藤光弘）